

マイケル・J・グリーン

2005年12月、CSIS 上級顧問兼ジャパン・チェアー、及びジョージタウン大学国際関係学部准教授に就任。国家安全保障会議（NSC）上級アジア部長兼アジア担当大統領特別補佐官（2004年1月－2005年12月）、同アジア部長（日本・朝鮮半島・オーストラリア・ニュージーランド担当、2001年4月－2003年12月）を歴任。外交問題評議会では、アジア安全保障担当上級研究員（1997年－2000年）として、韓国問題に関するタスク・フォースや日本及びアジア安全保障政策に関するスタディ・グループを指揮。また、国防総省アジア太平洋問題オフィスの上級顧問、同コンサルタント（1997年－2000年）、防衛分析研究所（IDA）研究員（1995年－1997年）、ジョンズ・ホプキンス大学高等国際問題研究大学院（SAIS）助教授、同講師（1994年－2001年）、同外交政策研究所アソシエイト・エグゼクティブ・ディレクター（1992年－1994年）、同ライシャワーセンター所長代理（1999年－2000年）を歴任。5年間日本に滞在、日本語に堪能。日本滞在中に、国会議員秘書を始め、日系及び米国系新聞のジャーナリスト、米国企業向けのコンサルタントを経験。『Japan's Reluctant Realism』（Palgrave/St. Martin's, 2001年）、『The U.S.-Japan Alliance』（Council on Foreign Relations, 1999）、『Arming Japan』（Columbia University Press, 1995）など、著書多数。1983年、ケニヨン大学史学部を最優等で卒業。ジョンズ・ホプキンス大学 SAIS にて、1987年に国際関係論修士号、1994年に同博士号を取得。フルブライト奨学生として東京大学大学院、またマサチューセッツ工科大学（MIT）日本プログラムの研究員として同大学院にて学ぶ。外交問題評議会、英国国際戦略研究所、アスペン研究所ストラテジー・グループのメンバー、日米友好基金副委員長、新米国家安全保障センター（CNAS）及び米豪リーダーシップ・ダイアログの顧問を務める。